

# 箕面市立青少年教学の森野外活動センター指定管理者候補者選定会議 議事概要

## 1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和3年（2021年）10月15日（金）午後1時30分から3時30分
- (2) 開催場所：箕面市役所 別館6階 教育委員会室
- (3) 出席者：岡 裕美（子ども未来創造局長）【会長】  
藤田 豊（みどりまちづくり部長）【副会長】  
山本 智也（大阪成蹊大学教育学部教授）  
辻 明（西小校区青少年を守る会会長・ボーイスカウト箕面第1団OB）  
柳原 健治（公認会計士・税理士）
- (4) 事務局：子ども未来創造局青少年育成室
- (5) 応募者：株式会社OUTDOOR LIVING

## 2. 議事概要

- (1) 当日スケジュール及び評価等について  
事務局より下記のとおり説明を行った。

### <当日スケジュール>

- 1. 応募者によるプレゼンテーション（15分）
- 2. ヒアリング（15分）
- 3. 採点、集計
- 4. 合議による選定

### <採点方法>

応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて以下のとおり採点する。

- ・ 提案金額に関する評価 A （定量評価）（100点）
- ・ 団体及び施設の管理運営に関する評価 B （定量評価）（100点）
- ・ 提案内容に関する評価 C （定性評価）（100点）

- (2) 応募者の提案内容プレゼンテーションについて

応募者である「株式会社OUTDOOR LIVING」よりプレゼンテーション（提案内容の説明）が行われた。

- (3) ヒアリングにおける質疑について

主な質疑については以下のとおり。

(質問) 教学の森の建物から景色はそれほど見えないが、眺望のために木の伐採を考えているのか。また、提案書に記載されている地域との交流はどのように行われる予定か。

(回答) 教学の森の管理棟屋上からは市街地が一望できる。また教学の森及び新稲の森は、森の中の雰囲気を楽しむため、できるだけ今の環境を活かして事業を行いたい。今後、指定管理業務を合同事業体で受けることを予定しており、その樹木専門事業者である「そら植物園」に意見を聞き、倒木の危険性のある木などを確認し伐採する予定。また、地域交流については、今まで協力企業と防災イベントなどを地域対象に行っており、そのような事業についても、地域のかたの意見を伺いながら作ってきたいと考えている。

(質問) 教学の森の敷地内に土砂災害のイエローゾーンがあるが、提案書に記載のある「地域の防災拠点」となるのか。また社会福祉協議会との連携も考えられるのでは。

(回答) 様々な方の意見を聞きながらと思っているが、災害後の課題の1つであるボランティアの宿泊施設として役割を果たせると考えている。

(質問) 教学の森の施設については、既存建物をリニューアルするのか、新しく建てるのか。

(回答) リニューアルを考えている。プレゼンテーションのとおり、様々な場所を整備して事業を展開し、様々な世代の生涯学習等にも寄与したい。

(質問) キャンプを中心とした市主催事業にはどう取り組むのか。野外教育・野外活動の経験はお持ちか。また、青少年の指導スキルを持つ職員、例えばキャンプインストラクターやキャンプディレクターなどの資格を持つ人材を配置されるのか。

(回答) 今までよりも深掘りした内容、時代に応じた課題、例えばSDGsなどを考えるような事業も、市と協議して実施していきたい。野外活動の観点では、テントの立て方や自然の中での安全管理などについて指導を行っている。今後、スキルや資格を持つ人材の配置については、取り組んでいきたい。(提案書では、主催事業は経験のある団体に委託予定とされている)

(質問) 財務諸表を見ると、前期は借入金が大きくなっているが、どこから調達したのか。

(回答) 株主から借り入れている。

(質問) 総売上金額に対する売掛金の割合が大きいのはなぜか。

(回答) 相手先が法人であり、回収できるものである。

(質問) 支出の中で業務委託費の割合が大きい理由は何か。

(回答) 受注した業務の中で、委託で行っているものが多いためである。

(質問) 提案では、教学の森の開業から新稲の森開業まで大きく期間が空いているが、新稲の森の開業を早められないか。

(回答) 教学の森の事業は弊社としても初めての取り組みであるため、開業してからしばらくは、そちらに注力したいと考えている。軌道に乗ってから新稲の森に取り組みたい、令和6年4月予定と記載しているが、予定よりは早くに開始したいと考えている。

(質問) 学校や団体の利用にあたっての対応はどう考えているのか。100人くらいの団体が利用する際はどこを利用するのか。

(回答) これまでも保育園児と保護者の親子キャンプなど実施しており、ある程度のノウハウは持っていると考えている。団体利用の対応については、100人を一度にとというのは難しいので、何組かに分けて利用いただくなど、今後協議して決めていきたいと考えている。

(質問) 施設運営全般の質問になるが、受付はどこで行うのか。また救護スペースは。

(回答) 受付は、利用者がアクセスしやすい管理棟の1階でと考えている。また救護スペースはシアタールームなどを予定している2階が静かなスペースになるかと思うのでそこで検討したい。

(質問) 予約方法や利用料金について、市民の優先、先行予約などは考えているか。また日帰りのデイキャンプの利用料金の想定はあるのか。

(回答) 利用料金としては、平日・休日と分けた設定を考えており、可能ならば安く設定する平日に利用していただけたらと考えている。予約方法については、今後協議して決めていきたいと考えている。

#### (4) 各評価者の主な意見

- ・ 会計の観点では問題はない。
- ・ 施設が更新され、これまで実施してきた市主催事業は実施するという提案で、公募要件は満たしている。地域団体が使いやすい施設にするようこれからの協議が大事。
- ・ 組織キャンプといった集団での野外活動に関する専門的知識・技術を踏まえた運営

についての具体的な提案が乏しく、これまで行ってきた青少年健全育成活動が継続できるのか、不安がある。

- ・応募者はやる気があると感じるので、期待している。市主催事業をはじめ団体利用や新たな事業については、市教育委員会が協議調整し、内容をコントロールする必要がある。

#### (5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション・ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数 789点／1,500点

(構成員平均 157.8点／300点)

上記点数に基づき判断した結果、株式会社OUTDOOR LIVINGが箕面市市立青少年教学の森野外活動センター指定管理候補者として適任である。